

**1 基本情報**

- (1) 国名：モルディブ共和国（以下、モルディブ）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：モルディブ全土
- (3) 案件名：経済社会開発計画（Economic and Social Development Programme）
- (4) 計画の要約：本計画は、モルディブ政府に対し、我が国で製造された海水油濁処理機材（油回収機、オイルフェンス、展張船等）を供与することにより、海上での油流出事故への対応強化を図り、もって社会の安定化を通じたモルディブの経済社会開発に寄与するもの。

**2 計画の背景と必要性****(1) 本計画を実施する外交的意義**

モルディブは、我が国のインド洋シーレーンの要衝（2012年以降、海上自衛隊護衛艦が計5回寄港）に位置し、地政学的な重要性を有する。また、2018年1月には河野外相がモルディブを訪問、同年6月にはアーシム・モルディブ外相が訪日して2度の外相会談を行い、両国外相は、過去50年間の友好関係を基礎に、「自由で開かれたインド太平洋戦略」の下、特に海洋安全保障等の分野で協力関係を強化していく旨表明し、本計画は同分野での協力関係の強化に資する。さらに、我が国は、対モルディブ国別援助方針の重点分野において「環境・気候変動対策・防災」を掲げており、本計画は同援助方針に合致することから、モルディブに対し本計画を実施する外交的意義は高い。

**(2) 油流出事故への対応の現状及び本計画の位置付け**

モルディブは大小1,190の環礁島から構成される小島嶼開発途上国(SIDS)である。モルディブは南北823kmに島々が広がる細長い国で、北緯1.5度海峡、北緯5度海峡、北緯8度海峡がそれぞれ国際航路となっており、船舶の往来が多い。特に北緯8度海峡は原油を積載した船舶がアラビア湾からインド洋に抜ける主要航路となっており、大小様々な規模の油流出事故が多く発生している。このような事故が発生すると、流出油が海に拡散し、海洋及び珊瑚礁を汚染させるなど深刻な環境問題に発展するとともに、主要産業となっているモルディブの観光業・資源に損害を与えることになる。

海上で油流出事故が発生した際、モルディブ沿岸警備隊は、海洋環境及び沿岸地域の保護、海難事故対応を担う唯一の機関である。しかし、同沿岸警備隊は本格的な油濁処理機材を有していないため、小規模な油流出事故以外は対応できていない。

このような状況において、モルディブ政府から要請のあった本計画を実施することで、モルディブ政府が直面している油流出事故によって引き起こされる深刻な状況を改善することができる。

### 3 計画概要

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

本計画は、モルディブ政府に対し、我が国で製造された油濁処理機材（油回収機、オイルフェンス、展張船等）を供与することにより、海上での油流出事故への対応強化を図るもの。

##### ② 期待される開発効果

海洋環境及び沿岸地域の保護、海難事故対応を担うモルディブ沿岸警備隊に油濁処理機材を供与することにより、海上で油流出事故が起きた際の対応強化が期待される。

##### ③ 計画実施機関

モルディブ沿岸警備隊

#### (2) その他特記事項

- モルディブの所得水準は相対的に高いことから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、無償資金協力の供与の可否について精査が必要である。モルディブは大小1,190の環礁島から構成される小島嶼開発途上国（SIDS）であり、気候変動による海面上昇等、自然災害に対する脆弱性を有している（経済的脆弱性）。また、モルディブは、インド洋シーレーンの要衝に位置しており、我が国支援を通じた同国の持続的発展と安定は、海上輸送路の安定にも貢献するとの観点から我が国にとり重要（外交的観点）。

以 上